

施策評価調書（基本目標別）

<p>基本目標</p>	<p>5 安定した経営を持続できる水道</p> <p>主要施策（8）～（10）</p>
<p>施策の趣旨</p>	<p>主要施策（8） 人材の確保と育成 人材面から経営基盤の強化を図るため、計画的な採用を進めるとともに、職員一人ひとりが企業人としての自覚をもち、水道事業の遂行に必要な知識と能力を十分に習得できるよう、研修等の機会を通じて人材の育成を進めていきます。</p> <p>主要施策（9） 業務能率の向上 適正で能率的な業務運営を確保し、お客様に信頼される経営を推進するため、職員の業務能率の向上を図ります。併せて、業務処理の迅速化を図るため、計画的に情報化を推進するとともに、お客様の個人情報等については管理を徹底します。</p> <p>主要施策（10） 経営体質の強化 水道施設の大規模更新に伴う資金需要の増大等に備え、引き続きコスト削減を進めるとともに、収益の安定性の確保を図ります。また、県営水道の望ましい経営形態について研究を進めるなど、経営体質の強化に資する取組を幅広く行います。</p>

<p>評価結果の概要</p>	<p>基本目標5においては、3つの主要施策の下に9の主な取組を位置付けております。各取組について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、</p> <p>I 「達成状況」に係る評価は、9つの取組全てについて「a」評価（達成している）としました。</p> <p>II 「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（8）について「b」評価（概ね成果が出ている）とし、主要施策（9）、（10）については「a」評価（成果が出ている）としました。</p> <p>III 「今後の進め方」に係る評価は、主要施策（8）、（9）、（10）共に「a」評価（継続）としました。</p>
----------------	--

主要施策ごとの当年度の取組と内部評価結果		
<p>(8) 人材の確保と育成</p>	<p>「成果」 b</p>	<p>「今後の進め方」 a</p>

<p>主な取組 「達成状況」</p>		
① 計画的な人材確保	a	
② 職員の育成と能力開発	a	
<p>(9) 業務能率の向上</p>	<p>「成果」 a</p>	<p>「今後の進め方」 a</p>

<p>主な取組 「達成状況」</p>		
① 率的な業務運営の確保	a	
② 情報化の推進	a	
③ 情報の適正管理	a	
<p>(10) 経営体質の強化</p>	<p>「成果」 a</p>	<p>「今後の進め方」 a</p>

<p>主な取組 「達成状況」</p>		
① 質確保に留意したコスト削減	a	
② 収益の安定性の確保と財務改善	a	
③ 経営形態等に関する調査研究	a	
④ 経営分析の活用	a	

外部評価会議 委員の評価	「達成状況、成果」についての 内部評価の妥当性	基本目標の達成に向けた主要な施策や取組の状況が示されており、各取組の達成状況や施策の成果に対する内部評価は、評価調書内容及び補足説明を総合して「妥当である」と判断します。 なお、実施内容等についてより丁寧な説明をするなど評価調書の記載の仕方等に改善の余地のあるものや内部評価についてより詳細な説明が必要なもの等については各委員から出た意見を踏まえ、更なる改善・検討を期待します。
	A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人	
外部評価会議 委員の主な意見	「今後の進め方」についての 内部評価の妥当性	各取組や施策の推進状況を踏まえた今後の進め方についての内部評価は、総じて「妥当である」と判断します。 今後の取組及び施策展開においても、各委員から出た意見等に留意されることを期待します。
	A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人	
	<p>主要施策（8） 人材の確保と育成 施策の成果 ○成果指標「研修実践度」の評価に当たって、「研修前から意識・実践していたため」との回答を行動に変化がないに含めてよいのか検討が必要ではないか。</p> <p>主要施策（9） 業務能率の向上 取組③情報の適正管理 ○情報管理において、各自の啓蒙・啓発、知識の習得も必要だと思うが、どんなに対策を講じても、ヒューマンエラーをゼロにすることはできないので、二重三重の対策が必要である。現在の達成指標である「研修受講者数」では情報セキュリティに関する様々な取組を代表する指標としては部分的である。指標を複数にする等、工夫が必要だと思う。</p> <p>主要施策（10） 経営体質の強化 取組②収益の安定性の確保と財務改善 ○達成指標「自己資本構成比率」の評価結果の説明・分析を記載した方がいいのではないか。</p>	